6．外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準
　外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
7．行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法
⑴　国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法
①　近隣の地代や賃貸料等を参考に計算しております。
②　無償貸付を受けている研究開発用資産に対し減価償却を行ったと仮定した場合の平成25年度減価償却相当額を計上しております。
⑵　政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率
10年利付国債の平成26年３月末利回りを参考に0.64％で計算しております。
8．リース取引の処理方法
　リース料総額が３百万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
　リース料総額が３百万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
9．消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっております。
Ⅱ．重要な債務負担行為
重要な債務負担行為は137,349,636,070円であります。
Ⅲ．重要な後発事象
該当事項はありません。
Ⅳ．貸借対照表関係
1．運営費交付金で財源措置されるべき退職給付の見積額は31,775,303,397円であります。
2．運営費交付金で財源措置されるべき賞与引当金の見積額は1,081,670,202円であります。
3．当期に減損を認識した固定資産は以下のとおりであります。
⑴　角田宇宙センターの建物の一部
①　固定資産の概要
・用途　プロパン庫
・種類　建物
・場所　宮城県角田市君萱字小金沢１
・減損前の帳簿価額（平成25年度期首）　383,340円
②　減損の認識に至った経緯
　上記資産については、試験設備として当機構設立に際し承継しましたが、承継時に比べて平成25年度期中における利用率が著しく低下しており、利用率の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。
③　算定方法等の概要
　減損額は、正味売却価額により算定しており、正味売却価額は、不動産鑑定業者が作成したデフレータに基づいて算定しておりますが、算定額が帳簿価額を上回っていたため、減損額は生じませんでした。
⑵　地球観測センターの建物の一部
①　固定資産の概要
・用途　車庫
・種類　建物
・場所　埼玉県比企郡鳩山町大字大橋字沼ノ上1401
・減損前の帳簿価額（平成25年度期首）　4,193,538円
②　減損の認識に至った経緯
　上記資産については、車庫として当機構設立に際し承継しましたが、承継時に比べて平成25年度期中における利用率が著しく低下しており、利用率の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。
③　算定方法等の概要
　減損額は、正味売却価額により算定しており、正味売却価額は、不動産鑑定業者が作成したデフレータに基づいて算定しておりますが、算定額が帳簿価額を上回っていたため、減損額は生じませんでした。
⑶　勝浦宇宙通信所の建物の一部
①　固定資産の概要
・用途　衛星の運用管制用建物、倉庫
・種類　建物
・場所　千葉県勝浦市芳賀花立山１―14
・減損前の帳簿価額（平成25年度期首）　4,075,312円
②　減損の認識に至った経緯
　上記資産のうち、衛星の運用管制用建物として当機構設立に際し承継した１建屋については、倉庫として使用することとしたため、承継時に比べて平成25年度期中における使用可能性が著しく低下しており、使用可能性の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。
　上記資産のうち、倉庫として当機構設立に際し承継した１建屋については、承継時に比べて平成25年度期中における利用率が著しく低下しており、利用率の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。
③　算定方法等の概要
　減損額は、正味売却価額により算定しており、正味売却価額は、不動産鑑定業者が作成したデフレータに基づいて算定しておりますが、算定額が帳簿価額を上回っていたため、減損額は生じませんでした。
⑷　内之浦宇宙空間観測所の建物の一部
①　固定資産の概要
・用途　衛星の運用管制用建物ほか
・種類　建物
・場所　鹿児島県肝属郡肝付町南方1791―13
・減損前の帳簿価額（平成25年度期首）　23,683,616円
②　減損の認識に至った経緯
　上記資産については、衛星の運用管制用建物等として２建屋を当機構設立に際し承継しましたが、承継時に比べて平成25年度期中における利用率が著しく低下しており、利用率の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。
③　算定方法等の概要
　減損額は、正味売却価額により算定しており、正味売却価額は、不動産鑑定業者が作成したデフレータに基づいて算定しておりますが、算定額が帳簿価額を上回っていたため、減損額は生じませんでした。
⑸　種子島宇宙センターの建物の一部
①　固定資産の概要
・用途　ロケットエンジン燃焼試験設備、データ中継設備及びロケット打上げの射場設備ほか
・種類　建物
・場所　鹿児島県熊毛郡南種子町大字茎永字麻津
・減損前の帳簿価額（平成25年度期首）　42,389,013円